

「切っても切れない」

私たちはフィクションとは切っても切れない関係です。

私たちの身体はウソとホントが混じり合っていてできています。

このワークショップでは、皆さんの身体に眠っているフィクションを探しに行きます。

劇作家や俳優志望の方、演劇に興味があるけれど未体験の方もぜひおこしください。

演劇の見方で世界や自分を見つめ直すような機会になれば幸いです。

演劇は身体と場所さえあればすぐに始められる遊びの一つです。

9 / 27 (金)

12:00 ~ 15:00

神戸文化ホール B1 階
リハーサル室

□対象 中学生以上の方。経験不問。

□参加費 1,000 円 ※当日受付でお支払いください。

□定員 16 名程度（抽選）

□申込締切 9 月 17 日（火） ※抽選結果は締め切り後にお知らせします。

□申込方法 件名に「inseparable「変半身（かわりみ）」ワークショップ」と明記し、本文に①～⑥をご記入の上、メールにてお申し込みください。

- ①お名前（ふりがな）
- ②年齢
- ③電話番号
- ④住所
- ⑤演劇経験（あれば）
- ⑥参加の動機

申込先

〈E-mail〉 E-mail:kobebunkahall@kobe-bunka.jp

講師 松井 周さん

（劇作家・演出家・俳優）

お問い合わせ：神戸文化ホール 078-351-3535

主催：（公財）神戸市民文化振興財団神戸文化ホール

助成：一般財団法人地域創造

講師： 松井 周 [まつい しゅう]

1972年生東京都出身。1996年劇団「青年団」に俳優として入団後、作家・演出家としても活動を開始する。2007年『カロリーの消費』より劇団「サンプル」を旗揚げ、青年団から独立。バラバラの自分だけの地図を持って彷徨する人間たちを描きながら、現実と虚構、モノとヒト、男性と女性、俳優と観客、などあらゆる関係の境界線を疑い、踏み越え、混ぜ合わせることを試みている。2011年『自慢の息子』で第55回岸田國土戯曲賞を受賞。2016年『離陸』で2016 Kuandu Arts Festival (台湾) に、2018年『自慢の息子』でフェスティバル・ドートンヌ・パリ (仏) に参加した。



photo:平岩 亨

公演
情報

いんせばらぶる
inseparable「変半身(かわりみ)」

芥川賞作家の村田沙耶香と岸田戯曲賞作家の松井周が運命の共作!!

マイノリティの居心地の悪さと、現代を飛び越えているけれど間もなく訪れそうな未来をユーモアたっぷりに描く村田沙耶香。社会的価値観の崩壊をニヒリズムたっぷりに描き、人口知能や先端医療を題材にしてきた松井周。

この二人が世界観とコンセプトを一緒に考え、それぞれの作品を作り上げていきます。

国内外の取材を経て描く「予想を超える未来」・・・とは??

ご期待ください!!

原案/村田沙耶香 松井周

脚本・演出/松井周

【日程】 12月21日(土) 19:00開演
12月22日(日) 14:00開演

【会場】 神戸文化ホール中ホール舞台上 (神戸市中央区楠町4-2-2)

【料金】 整理番号付き自由席
一般 3,500円 / U25 (25歳以下) 2,000円 / U18 (18歳以下) 1,000円

【発売日】 友の会先行:9月14日(土) / 一般:9月21日(土)